# 安全データシート

# **2-**ピリジンカルボアルデヒド**(E)-**オキシム

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

# 1. 化学品及び会社情報

### 製品識別子

製品名 : 2-ピリジンカルボアルデヒド(E)-オキシム

CB番号 : CB71216289 CAS : 1193-96-0

# 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。

推奨されない用途 : なし

会社ID

会社名 : Chemicalbook

住所: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟

電話 : 010-86108875

# 2. 危険有害性の要約

## 2.1 GHS分類

特定標的臓器毒性(単回ばく露) (区分3), 気道刺激性, H335

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 (区分1), H318

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 (区分2), H315

急性毒性,経口 (区分4), H302

# 2.2注意書きも含むGHSラベル要素

# 絵表示

GHS05	GHS07

### 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H318 重篤な眼の損傷。

H315 皮膚刺激。

H335 呼吸器への刺激のおそれ。

H302 飲み込むと有害。

#### 注意書き

### 安全対策

P280 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

### 応急措置

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

P304 + P340 + P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

#### 保管

P405 施錠して保管すること。

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

### 廃棄

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

### 2.3 他の危険有害性

なし

# 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質化学特性(示性式、構造式等) : C6H6N2O分子量 : 122.12 g/molCAS番号 : 1193-96-0

官報公示整理番号 :- 安衛法 :-

# 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

データなし

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

# 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

# 5. 火災時の措置

# 5.1 消火剤

データなし

# 5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物,窒素酸化物(NOx)

5.3 消防士へのアドバイス

データなし

### 5.4 詳細情報

データなし

# 6. 漏出時の措置

## 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

個人保護については項目8を参照する。

# 6.2 環境に対する注意事項

データなし

# 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

データなし

# 6.4参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

# 7. 取扱い及び保管上の注意

# 7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

# 7.2配合禁忌等を踏まえた保管条件

湿気に反応する。

# 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

# 8. ばく露防止及び保護措置

# 8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

# 8.2 曝露防止

データなし

# 9. 物理的及び化学的性質

# Information on basic physicochemical properties

外観	形状: 結晶性色: 白色
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
рН	データなし
融点・凝固点	融点/ 範囲: 110 - 112 °C - lit.
沸点,初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
引火上限/下限または爆発限界	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	データなし
水溶性	データなし
n-オクタノール / 水分配係数	log Pow: 0.981
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
データなし	

# 9.2 その他の安全情報

データなし

# 10. 安定性及び反応性

# 10.1 反応性

データなし

# 10.2 化学的安定性

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

# 10.4 避けるべき条件

データなし

# 10.5 混触危険物質

強酸化剂,強酸

### 10.6 危険有害な分解生成物

その他の分解生成物-データなし

火災の場合:項目5を参照

有害な分解生成物が火があるとき生成される。 - 炭素酸化物, 窒素酸化物(NOx)

# 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

# 急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし

データなし

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

長時間または反復の暴露は、過敏な人に対してアレルギー反応を起こす可能性がある。 先行データまたはデータ解釈は、定量的構造活性相関 (QSAR) モデリングにより調べられた。

# 生殖細胞変異原性

データなし

### 発がん性

IARC: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があ

る、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

### 生殖毒性

追加情報

吸引性呼吸器有害性

データなし

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

RTECS: データなし

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

吸入 - 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

# 12. 環境影響情報

# 12.1 生態毒性

データなし

12.2 残留性·分解性

データなし

12.3 生体蓄積性

データなし

12.4 土壌中の移動性

データなし

# **12.5 PBT** および **vPvB** の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

# 13. 廃棄上の注意

# 13.1 廃棄物処理方法

データなし

# 14. 輸送上の注意

# 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制):- IMDG (海上規制):- IATA-DGR (航空規制):-

# 14.2 国連輸送名

IATA-DGR (航空規制): Not dangerous goods

ADR/RID (陸上規制): 非危険物

IMDG (海上規制): Not dangerous goods

## 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制):- IMDG (海上規制):- IATA-DGR (航空規制):-

### 14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制):-IMDG (海上規制):-IATA-DGR (航空規制):-

# 14.5 環境危険有害性

非該当

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制): 非該当

# 14.6 特別の安全対策

なし

### 14.7 混触危険物質

強酸化剤,強酸

# 15. 適用法令

# 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

### 国内適用法令

消防法:

危険物、指定可燃物に該当しない。

毒物及び劇物取締法:

非該当

### 労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

非該当

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

非該当

化学物質排出把握管理促進法:

非該当

# 16. その他の情報

### 略語と頭字語

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

LD50: 致死量 50% LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

# 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp
- 【2】化学物質審查規制法(化審法)https://www.env.go.jp
- 【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) https://www.chemicoco.env.go.jp
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP) https://www.nite.go.jp/
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple
- 【6】ChemlDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp
- 【7】ECHA 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/
- 【8】eChemPortal OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index? pageID=0&request\_locale=en
- 【9】ERG 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp
- 【11】HSDB 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm
- 【12】IARC 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/
- 【13】IPCS The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

# 免責事項:

本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用 性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。